

## 2017年度 第4回共創サロン

### 経済学の起源とフランスのコンテクスト



米田 昇平 教授

経済学の起源とは何か。アダム・スミスの『国富論』に経済学の誕生を見て、その思想的源泉をスコットランド啓蒙などに求める、いわばスミス中心史観とってよい見方が、とくにわが国では支配的である。フランスの文脈から見れば、この問題はどのように捉えられるか。人間と社会をめぐる新しい見方が17世紀フランスに生まれるが、この新潮流に鍛えられて、功利的な人間像や社会を「欲求の体系」とみる社会像に基づいて、消費を重視する独自の経済学が生まれ、展開していく。フランスのボワギルベールとイギリスのマンデヴィルの経済思想に焦点をあて、その事情を解説する。そのような独自の見方から何が見えてくるだろうか。近代社会は、いわば必然的に、欲求のシステムとこれを支える労働・勤労のシステムという二重の相互的システムの螺旋的な拡大をどこまでも求め続ける、ということである。

◆ 日時：12月6日（水）18：00～19：00

◆ 場所：下関市立大学 本館3階 II-301教室

◆ 参加費：無料

◆ 学生の皆さんも学外の方も、ぜひ奮ってご参加ください。

◆ 駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

◆ 共創サロンとは ◆

参加者が相互に交流して情報を出し合い意見を交換する場です。テーマは学内の特色ある研究、教育、地域活動の中から、学生や学外の方を含む多くの方に興味を持っていただけるような内容を取り上げます。大学と地域との懸け橋となるよう気軽に参加できるサロンを目指していきますので、皆さん是非ともお越しください。

■ お問合せ 下関市立大学附属地域共創センター

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 E-mail [chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp](mailto:chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp)